

科目名	保育者論				担当	千葉 直紀		
形態	講義	単位数	2	開講時期	1年後期	実務経験	保育士として保育施設で勤務経験あり	
必修	幼免：必修 保育士：必修				ナンバリング	Y1107	DPとの関連	2
授業概要	前期の学習内容や実習を基盤にしながら、保育者の役割と倫理、幼稚園教諭と保育士の制度的位置づけ、保育者の協働を学ぶとともに、保育者の専門性について理解を深める。さらに保育者の専門的成長について学び、自分が目指す保育者像を構築するなかで、自分の課題を分析する。							
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育者の職務と役割および幼稚園教諭と保育士の制度的な位置づけについて理解し説明できる。</li> <li>・ 保育者としてふさわしい倫理観を身に付ける。</li> <li>・ 保育者の専門性及び専門的成長について理解したうえで、自分が目指す保育者像と自分の課題について考え、述べることができる。</li> </ul>							
授業計画	回	内容						
	1	「保育者になる」ということ	本授業の概要と目的について概説するとともに、「保育者になる」とはということかを説明する					
	2	保育者の仕事内容①	幼稚園教諭と保育士の一般的な職務内容について説明する					
	3	保育者の仕事内容②	保育者の一年間の職務の流れについて説明する					
	4	保育者に求められるもの①	「なりたい保育者像」と「なりたくない保育者像」についての検討から「保育者の専門性」について考える					
	5	保育者に求められるもの②	『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』を参考に、保育者に求められる役割と倫理について説明する					
	6	保育者の仕事内容③	保育者の職業倫理の実際から保育者の専門性について考察する					
	7	幼稚園教諭と保育士の制度的な位置づけ	教育や保育に関する法律や制度をもとに、保育者の義務と権利について説明する					
	8	子どもと保育者の関係	事例をとおして、子どもが保育者に求めているものについて検討する					
	9	保護者と保育者の関係	保護者からの手紙などを通して、保護者が保育者に求めていることについて検討する					
	10	地域と保育者の関係	事例をとおして、地域社会における保育者の役割について説明する					
	11	歴史の中の保育者①	教育・保育に関する歴史上の人物とその功績について説明するなかで、受講者は自分が目指す保育者像と自分の課題について検討する					
	12	歴史の中の保育者②	受講者が目指す保育者像と自分の課題について発表する					
	13	成長する保育者①	保育者が成長するために必要な日々の保育の省察や研修について説明する					
	14	成長する保育者②	現代社会における保育者のライフステージについて説明する					
15	「私が目指す保育者像」の再構築	受講者が保育者の職務及び役割について再考し、受講者自身の「私が目指す保育者像」を構築する						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育者の職務と役割および幼稚園教諭と保育士の制度的な位置づけについて理解し、説明できるか</li> <li>・ 保育者としてふさわしい倫理観を身に付けているか</li> <li>・ 保育者の専門性及び専門的成長について理解したうえで、自分が目指す保育者像と自分の課題について考え、述べることができるか</li> </ul>							
評価方法	レポート 80% その他 20% ( 課題レポートの提出 )							
フィードバック 方法	学生が講義内で書いた振り返りシート内容を提示し、それについて講評する							
アクティブ ラーニング	グループワーク							
教科書	特になし							
参考書	特になし							
履修条件	講義用ノートを整理し、聞いたこと適宜メモをとる意識を持つこと							
授業外学習	事前学習：幼稚園・保育園・認定こども園等の施設や制度等に関する学びや情勢に対する情報収集（各回 30分） 事後学習：授業の振り返りと課題レポート等に関する文献収集やまとめ（各回 1時間）							
オフィスアワー	オフィスアワーの時間は、学生支援課の掲示板に掲示する							